

平成25年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年6月4日

上場会社名 ゼネラルパッカー株式会社
 コード番号 6267 URL <http://www.general-packer.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 梅森 輝信
 (氏名) 小関 幸太郎

上場取引所 大名
 TEL 0568-23-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第3四半期の業績(平成24年8月1日～平成25年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第3四半期	3,152	23.4	12	—	29	—	21	—
24年7月期第3四半期	2,554	△9.5	△46	—	△56	—	△38	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第3四半期	2.47	2.47
24年7月期第3四半期	△4.32	—

(注)24年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第3四半期	4,196	—	2,796	—	—	66.6
24年7月期	4,488	—	2,830	—	—	63.0

(参考) 自己資本 25年7月期第3四半期 2,795百万円 24年7月期 2,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	3.50	—	3.50	7.00
25年7月期	—	3.50	—	—	—
25年7月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の業績予想(平成24年8月1日～平成25年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	13.9	85	115.6	100	254.7	65	733.4	7.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年7月期3Q	8,994,000 株	24年7月期	8,994,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年7月期3Q	119,733 株	24年7月期	124,733 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年7月期3Q	8,871,154 株	24年7月期3Q	8,809,624 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期財務諸表.....	4
(1) 四半期貸借対照表.....	4
(2) 四半期損益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(4) セグメント情報等.....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかな回復の動きがみられ、加えて昨年12月に発足した新政権による諸政策への期待感から、為替相場は円安に動き株価も上昇するなど、景気回復に向けた兆しがみられるようになってきました。しかしながら、欧州の債務危機問題の長期化や新興国経済の減速等により、景気の先行きにつきましては不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社は積極的な新機種開発を推進し、新たなマーケットの開拓、新機種の拡販、海外販売の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間における売上高につきましては、高価格機種の販売台数が増加したことから、前年同期に対し598百万円の増収となりました。

収益面につきましては、売上高の増加に伴い、売上総利益は前年同期を上回りました。また、営業利益及び経常利益につきましては、研究開発費等の増加に伴い販売費及び一般管理費が前年同期より増加したものの、増収効果により前年同期に対し増益となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,152百万円（前年同期比23.4%増）、営業利益12百万円（前年同期は営業損失46百万円）、経常利益29百万円（前年同期は経常損失56百万円）、四半期純利益21百万円（前年同期は四半期純損失38百万円）となりました。

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであります。単一セグメントを品目別に分類した場合における品目別売上高の概況は次のとおりであります。

給袋自動包装機は、販売台数は減少したものの高価格機種の実績が増加したことから、売上高は1,894百万円（前年同期比41.6%増）となりました。

製袋自動包装機は、販売台数が減少したことから、売上高は166百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

包装関連機器等は、包装システムの販売実績が増加したことから、売上高は371百万円（前年同期比119.1%増）となりました。

保守消耗部品その他につきましては、保守案件の実績が減少したことから、売上高は720百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

なお、当社の各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響されることとなり、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。

（2）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は3,264百万円となり、前事業年度末に比べて322百万円減少いたしました。この主たる要因は、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が154百万円減少したこと、棚卸資産が141百万円減少したこと等によります。

固定資産につきましては、当第3四半期会計期間末残高は931百万円となり、前事業年度末に比べて30百万円増加いたしました。この主たる要因は、投資その他の資産が34百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ292百万円減少し、4,196百万円となりました。

（負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,306百万円となり、前事業年度末に比べて266百万円減少いたしました。この主たる要因は、前受金が84百万円増加したものの、仕入債務が431百万円減少したこと等によります。

固定負債につきましては、当第3四半期会計期間末残高は92百万円となり、前事業年度末に比べて8百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ258百万円減少し、1,399百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産の残高につきましては、利益剰余金の減少等により、前事業年度末に比べ33百万円減少し、2,796百万円となりました。

（3）業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、全体としては顧客企業の設備投資需要は比較的堅調に推移するものの、国内外での競争は厳しさを増してきており、受注環境は引き続き厳しい状況となることが予想されます。

このような状況の中で、当社におきましては、新機種の研究開発や新たなマーケットの開拓、海外販売の強化などに取り組み、収益の確保を目指してまいります。

今後の業績の見通しにつきましては、現在までのところ、ほぼ計画通りに推移していることから、見直しを実施しておりません。

以上により、平成25年7月期の通期の業績予想につきましては、平成25年3月5日発表「平成25年7月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の業績予想値と変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年8月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,523,639	1,480,932
受取手形及び売掛金	1,038,728	825,827
仕掛品	437,215	341,630
原材料及び貯蔵品	384,023	338,197
未収入金	161,055	182,585
その他	42,497	95,065
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	3,587,152	3,264,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	524,245	505,467
土地	280,603	298,125
その他（純額）	11,874	12,430
有形固定資産合計	816,724	816,022
無形固定資産	11,365	8,390
投資その他の資産	73,172	107,439
固定資産合計	901,262	931,852
資産合計	4,488,414	4,196,085
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,180,409	749,014
未払法人税等	2,006	25,231
賞与引当金	—	30,479
製品保証引当金	11,170	8,994
その他	380,296	493,192
流動負債合計	1,573,882	1,306,912
固定負債		
退職給付引当金	37,165	37,918
役員退職慰労引当金	46,700	54,300
固定負債合計	83,865	92,218
負債合計	1,657,748	1,399,131

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	251,577	251,577
資本剰余金	282,269	282,269
利益剰余金	2,315,090	2,274,805
自己株式	△23,266	△22,333
株主資本合計	2,825,670	2,786,318
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,457	9,502
評価・換算差額等合計	3,457	9,502
新株予約権	1,539	1,134
純資産合計	2,830,666	2,796,954
負債純資産合計	4,488,414	4,196,085

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日)
売上高	2,554,196	3,152,338
売上原価	1,914,131	2,416,554
売上総利益	640,064	735,783
販売費及び一般管理費	686,781	722,839
営業利益又は営業損失(△)	△46,716	12,944
営業外収益		
受取利息	1,082	478
受取配当金	115	115
為替差益	382	12,723
その他	4,547	4,843
営業外収益合計	6,127	18,160
営業外費用		
支払利息	1,598	1,637
支払補償費	14,688	—
その他	80	123
営業外費用合計	16,367	1,761
経常利益又は経常損失(△)	△56,955	29,343
特別損失		
固定資産除却損	38	64
特別損失合計	38	64
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△56,994	29,278
法人税、住民税及び事業税	619	29,348
法人税等調整額	△19,541	△21,975
法人税等合計	△18,921	7,372
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,072	21,905

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。